

# 消防吏員防火装備購入事業

## 仕様書

鳴門市消防本部

## 第1章 総則

### 1. 目的

この仕様書は、鳴門市消防本部が、令和5年度に購入する防火衣、防火帽、しころについて必要な事項を定める。

### 2. 概要

防火衣等は、国際標準規格IS011999-3（レベル1）及び「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」に準拠するものであること。

### 3. 防火衣等の条件

防火衣等に使用する材料、付属品はこの仕様書に準じ、仕上りが優美な製品であり、縮み、傷、汚れその他外観を損なうような欠点のないものとする。

防火帽は、物体の飛来又は落下による危険及び墜落による危険から装着者の頭部を保護する構造及び性能を有し、頭部の動きによるぐらつきが少なく、装着中に於いて不快感が少ないこと。

### 4. 保険項目特記事項

上記当本部該当防火衣について、要修理箇所が発生した場合、応札者は、その依頼する防火衣メーカーへ、任意に選定する損害保険会社と連携して、1件最大5万円までの修理対応をする事。また、その期間設定は納品後5年間とする。

但し、全損の場合は特記適用外とする。

### 5. 購入数

防火衣・防火帽・しころを1セットとし5セット購入する。

### 6. 納品期限 及び 納品場所

令和6年3月31日 鳴門市消防本部消防総務課

## 第2章 防火衣仕様

### 【インスパイヤー3DP】

#### 1. 構造

- (1) この防火衣は、外衣と中衣からなる多層構造で、上衣とサスペンダー付下衣で構成された上下式とする。
- (2) この防火衣は、立体構造の裁断を行い、消防活動に適した機能性と強度を有するものとする。

#### 2. 生地材料

##### (1) 表生地

品番 118240

混率 メタ系アラミド49% パラ系アラミド50% 制電性繊維1%

色相 ゴールド

##### (2) 中衣生地（上衣/下衣 透湿防水層）

品番 MAMORU

混率 メタ系アラミド95% パラ系アラミド5%

透湿防水フィルム（PTFE製）加工  
透湿度 700g/m<sup>2</sup>以上

- (3) 中衣生地（上衣 遮熱層兼裏地）  
品番 NGN-3020  
混率 メタ系アラミド95% パラ系アラミド5%
- (4) 中衣生地（下衣 遮熱層兼裏地）  
品番 NGK-9292  
混率 メタ系アラミド90% パラ系アラミド10%

### 3. 補助材料

部品名	規格等	用途
ゴム補強布	パラ系アラミド100% ゴム引布	上衣/袖口、肩、肘 下衣/膝、ポケット取手、裾口
保護パッド	パラ系アラミド100% フェルト（不織布）	上衣/肩 下衣/膝
メッシュ	ポリエステル100%	上衣/冷却材用ポケット
リブ	アラミド100% ニット	上衣/袖口
反射テープ	Orafol FTP-2575-S	各指定部位
ファスナー	YKK製	各開閉部位
面ファスナー	YKK製または同等品	各開閉部位
アイレット	YKK製または同等品	各ポケット底面
ドットボタン	YKK製または同等品	各開閉部位
平カン	YKK製または同等品 38mm幅	下衣/ウエストベルト
テープ	ポリプロピレン100% 38mm幅	下衣/ウエストベルト
シームテープ	透湿防水フィルム（PTFE製）用	中衣透湿防水層縫目
サスペンダー	専用品	下衣

### 4. 縫製条件

#### (1) 針数

3cm間で地縫及び飾りステッチ11針以上とする。

#### (2) 縫製

糸調子は上下共ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。  
縫い合わせ部等の裁ち目は、オーバーロック掛けが施してあること。

### 5. 縫製要領

#### (1) 上衣

##### ① 衿

外衿及び内衿に表生地を使用し、首部を覆う立ち衿とする。左衿にタブを取り付け右衿との面ファスナー止めとする。

また後部指定位置へ2箇所ループを取り付ける。

##### ② 前開き

ファスナー合わせとし、更に左身頃に前立てを付け、右身頃との面ファスナー止めとする。

③袖

肩先に縫い目のない立体構造の形状とし、腕の運動を考慮した型紙とする。  
肩、肘、袖口にはゴム補強布を縫い付け、背部にはDRD (Drag Rescue Device) を取り付ける。両袖に面ファスナーを縫い付け、防火衣共生地ワッペンを取り付けること。

④反射テープ

胸、背面、裾廻りと袖口廻りに二条縫いで縫い付ける。

⑤着脱ポケット

胸部、脇部に、着脱可能な構造とし、当本部指定のサイズ、形状で作製すること。

⑥腰ポケット

左右腰部に、雨蓋付き2方マチポケットを取り付ける。  
ポケット底部には水抜き用のアイレットを付け、雨蓋とは面ファスナー止めとする。また雨蓋両端にループを取り付けること。

⑦マイクループ

左右胸上部に、マイクループ、無線機アンテナループを取り付ける。

⑧中衣

透湿防水層と遮熱層兼裏地を別々に作成し、縫い合せた中衣とする。  
前開き見返しのファスナー及び衿と袖口の面ファスナーで、外衣と脱着できる構造とする。  
袖口にはリブを付け、背中と脇の3カ所に冷却材用ポケット、肩部に保護パッドを縫い付ける。  
防水性を考慮した型紙、仕様とし、透湿防水層の縫目にはシームテープを貼り付ける。  
裾部分にはファスナー開閉により、シームテープが確認可能な構造とする。

⑨後裾

ワッペン取り付け用に、面ファスナーを縫い付けること。  
ワッペンは防火衣共生地にて作成、個人名標示し、付属すること。  
(色相：ネイビー生地 to 黄色文字とする)

⑩プリント

背面上部へ当本部指定の文字をプリントすること。

(2) 下衣

①前開き

ファスナー合わせとし、更に左身頃に前立てを付け、右身頃との面ファスナー止めとする。

②膝

立体構造の形状とし、膝の運動を考慮した型紙とする。  
膝前部にはゴム補強布を縫い付ける。

③裾口

裾口脇側はファスナー開閉とし、面ファスナー開閉のタブを縫い付け、裾口廻りを調節できる構造とする。裾口にはゴム補強布を縫い付ける。

④反射テープ

裾廻りに二条縫いで縫い付ける。

⑤脇ポケット

左右脇部に、雨蓋付き3方マチポケットを取り付ける。

ポケット底部には水抜き用のアイレットを付け、雨蓋とは面ファスナー止めとする。また雨蓋下端にはゴム補強布を取り付ける。

⑥ウエストベルト

平カンとテープを使用し、腰の両側で確実に締め付けることができ、面ファスナーで固定できる構造とする。ベルト通しは5カ所とし、前部と脇部はドットボタン開閉とする。

⑦安全帯通し/カラビナループ

ウエストベルトの下に安全帯通しを5箇所取り付ける。

左前側の安全帯通しの下にカラビナループを取り付ける。

⑧サスペンダー

前腰部に2カ所、後腰部に2カ所のサスペンダー脱着ループを取り付け、脱着式の専用サスペンダーを付ける。

⑨中衣

透湿防水層と遮熱層兼裏地を別々に作成し、縫い合せた中衣とする。

腰見返しのファスナー及び前開きと裾口の面ファスナーで、外衣と脱着できる構造とし、膝部に保護パッドを縫い付ける。

防水性を考慮した型紙、仕様とし、透湿防水層の縫目にはシームテープを貼り付ける。

また腰部分にはファスナー開閉により、シームテープが確認可能な構造とする。

⑩裾ポケット

右裾部に、雨蓋付き3方マチポケットを取り付ける。

ポケット底部には水抜き用のアイレットを付け、雨蓋とは面ファスナー止めとする。

## 6. 寸法表

部位 サイズ	上衣			下衣	
	着丈	桁丈	胸囲	腰囲	股下
S	68	77	109	80	67
M	71	80	115	88	70
L	74	83	121	96	73
LL	77	86	127	104	76
3L	80	89	133	112	79
4L	80	89	143	122	79
5L	80	89	153	132	79

出来上がり寸法（単位：cm） 許容差±2%  
上衣の桁丈は±3cmピッチ、下衣の股下は±5cmピッチで調整可能

## 第3章 防火帽仕様

### 【FD7】

#### 1. 仕様等

##### ①帽体

F R P製（ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による軽量強化プラスチック）。耐食性に優れ、自己消火性を有するもの。

##### ②き章

帽体の前面中央にアクリル系プラスチック（反射）のき章を貼り付けること。

##### ③周章

帽体へ黄反射スコッチシールを取り付けること。

##### ④ベルトホルダー

帽体の指定位置にヘッドライトのベルトを固定できるものを取り付けること。

##### ⑤標識

帽体の両側面に、「鳴門消防」（※指定書体）を標示すること。

##### ⑥掛け金具

帽体の後部中央に半月環状の掛け金具を取り付けること。

##### ⑦ハンモック

かぶり深さが調整できる、補助ハンモック付であること。

##### ⑧ヘッドバンド

頭回りに応じて約 520mm から約 630mm までの範囲で、約 5 mm 毎に大型ワンタッチダイヤルでサイズ調整が可能なものであること。

##### ⑨しころ取付け板

しころ取付け用として、取付け板に、押しホック（オス）を 6 個取り付けること。

⑩頭頂パッド

頭頂部に、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けること。

⑪あご紐

あご紐は、片方をホックにより着脱できるものであり、使用中に防火帽の脱落又はぐらつきがないように確実に締められるものであり、交換可能なものであること。また難燃繊維製であること。

⑫着装体固定リベット

着装した状態で、着装体固定リベットと着装者の頭部が直接接触しないこと。

⑬顔面保護版

前面からの注水に対し顔面を保護できる構造であり、視界の妨げとなるゆがみ等がないこと。

顔面保護版を帽体内に収納できる構造とし、円滑に引き出せる機構を有するものであること。

⑭形状

セミジェット型とする。

⑮表面塗装

SD ガンメタリック（指定色）のウレタン焼付け塗装を施し、表面はウレタンクリア仕上げとする。

⑯重量

920 g 以下とする。

## 第4章 しころ仕様

### 1. 仕様等

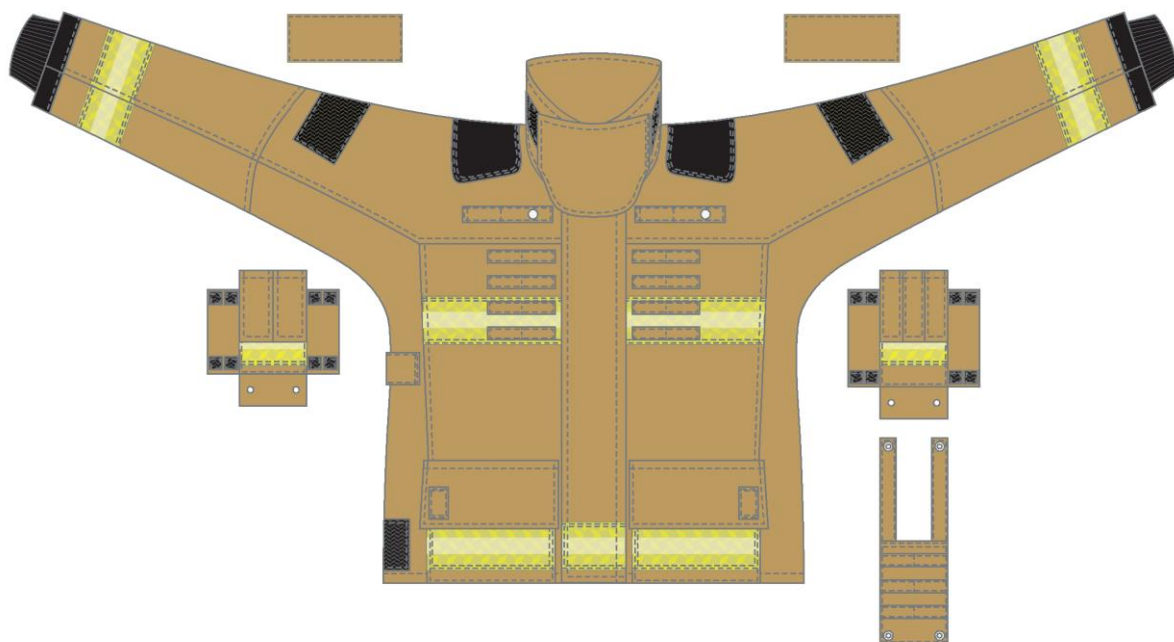
①材料は仕様書で定める防火服と共通とする。

②当本部が指定する防火帽に取付できる形状とする。

③防火帽のシールドを最下部まで下げた際に顔面を覆い肌が露出せず、隙間ができない形状とする。

※サイズ、形状は担当者と別途協議すること

【防火衣 上衣】

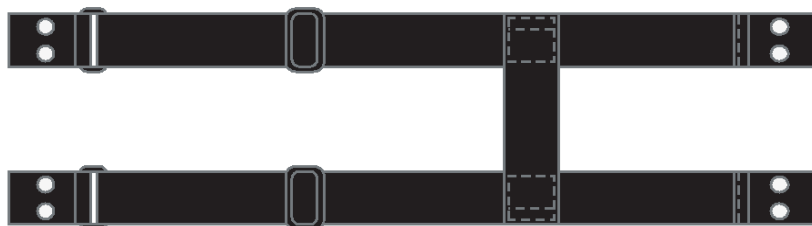
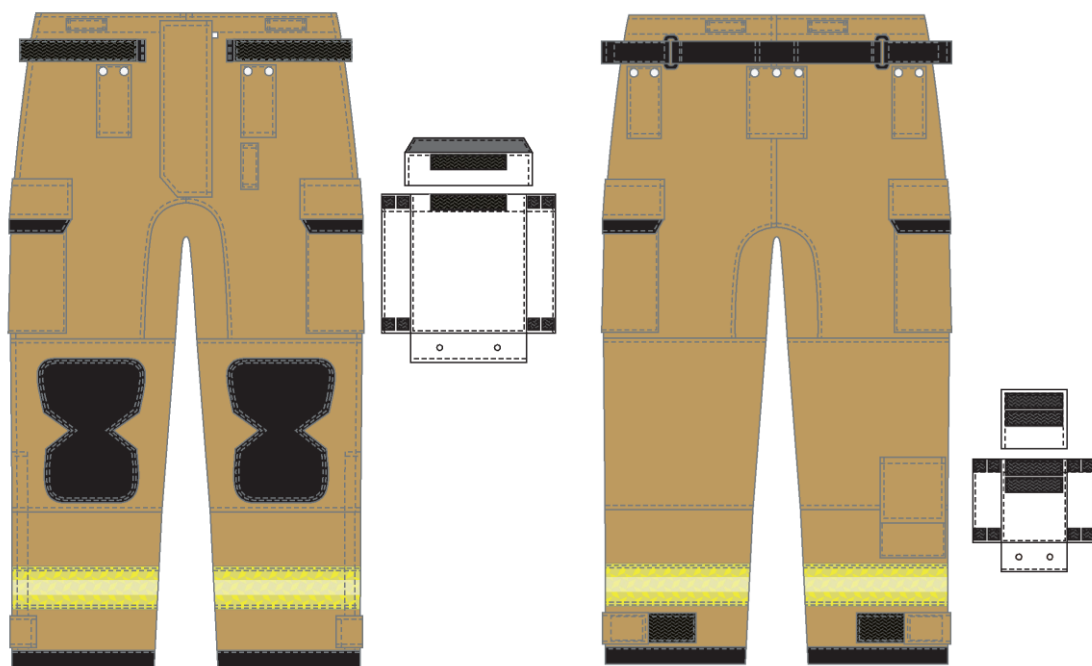


書体は後日指定する

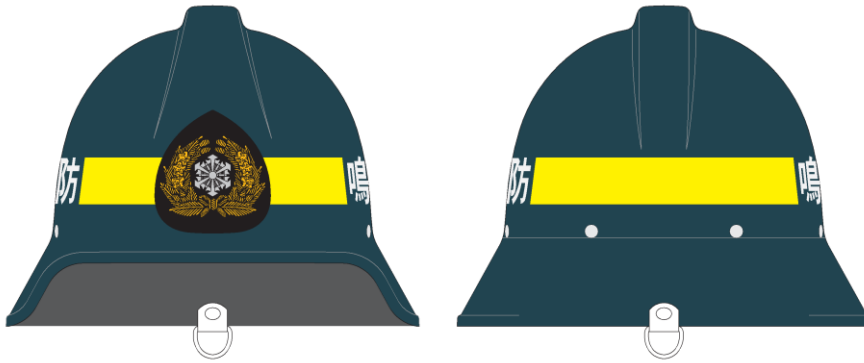
TANAKA



【防火衣 下衣】



【防火帽】



書体は後日指定する

【しころ】

